

一般社団法人

ユニバーサルデザインいしかわ

設立記念シンポジウム

UDで拓く、多様で豊かな生活情景

「本のスプーンからまちづくりまで」

4.15 (土) 14:30～17:30 (14:00 開場) 金沢商工会議所 研修室 I (金沢市尾山町 9-13)

主催：一般社団法人ユニバーサルデザインいしかわ 後援：石川県、金沢市、NPO法人趣都金澤、北國新聞社

4.15 設立記念シンポジウム プログラム

第1部	一般社団法人ユニバーサルデザインいしかわの紹介
第2部	基調講演 「暗闇から世界が変わる ダイアログ・イン・ザ・ダーク・ジャパンの挑戦」 講師：ダイアログ・イン・ザ・ダーク・ジャパン 代表 志村 真介
第3部	パネルディスカッション 「UDで拓く、多様で豊かな生活情景」 モデレーター (一社)ユニバーサルデザインいしかわ 理事長 荒井利春 パネリスト 志村 真介 (ダイアログ・イン・ザ・ダーク・ジャパン 代表) 浦 淳 (株式会社浦建築研究所 代表取締役) 岡 宏 (医療法人財団医王会 理事長) 安江 雪菜 (株式会社計画情報研究所 専務取締役)
交流会	18:00 開始 @ 欧風居酒屋「ビストロシャレ」会費 3,000 円



基調講演 講師
ダイアログ・イン・ザ・ダーク・ジャパン 代表
志村 真介

コンサルティングファームフェロー等を経て、1999年からダイアログ・イン・ザ・ダーク(DID)の日本開催を主宰。1993年の新聞記事でDIDと出会い感銘を受け、ドイツ人の発案者ハイネッケに手紙を書き日本開催の承諾を得る。視覚障がい者の新たな雇用創出を実現し、人が対等に楽しみながら対話できるソーシャルエンターテインメントとして世の中に提供。

暗闇のなかのソーシャル・エンターテインメント

ダイアログ・イン・ザ・ダーク(DID)とは？

完全に光を遮断した“純度100%の暗闇”の中で、様々な体験を通じ「五感」の気付きや「コミュニケーション」などを楽しむソーシャルエンターテインメント。1988年、ドイツの哲学博士アンドレアス・ハイネッケの発案によって生まれたDIDは、これまで世界39カ国以上で開催され、800万人を超える人々が体験。何千人もの視覚障がい者のアテンド、ファシリテーターを雇用してきた。日本では1999年11月の初開催以降、現在は東京・外苑前の会場と、大阪「対話のある家」を中心に開催、これまで約19万人が体験している。2010年3月からは、チームビルディング、コミュニケーション促進など企業研修(ビジネスワークショップ)としても利用されており、これまで500社以上に導入され、日本唯一の暗闇研修として注目されている。



モデレーター
一般社団法人ユニバーサルデザインいしかわ 理事長
荒井 利春

Arai UD Workshop「荒井利春実験工房」主宰、金沢美術工芸大学名誉教授。1980年代より、体の機能に障がいのあるセンシティブなユーザーと日用品や家具、住宅設備などのデザインプロジェクトを持続してきている。それらの成果はグッドデザイン賞など多数受賞。また、医師や看護師、患者が参加する病院のデザインコーディネーションや、公共建築のユーザー参加型デザインを進めている。

申込方法 下記必要事項をご明記の上、メールまたはFAXにてお申し込みください。【メール】udi@uraken.co.jp 【FAX】076-223-1251

氏名	電話
メールアドレス	所属団体

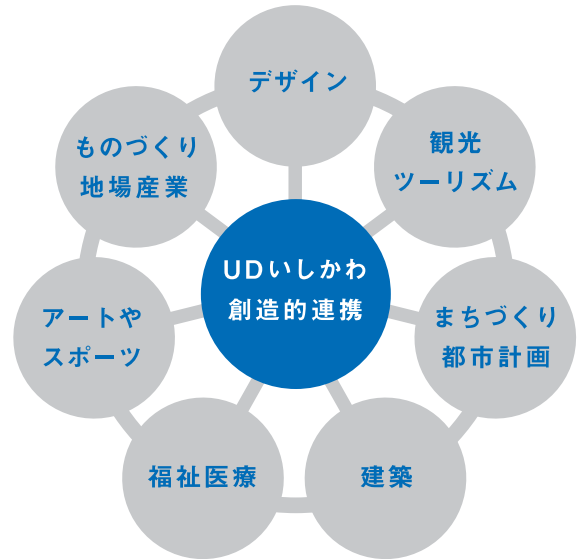
交流会に参加します

下記をご利用の方はください

手話通訳 前側席 車いすパーキング その他(事務局がお伺いします)

お問合せ 一般社団法人ユニバーサルデザインいしかわ事務局(担当:万波)080-3317-5938 石川県金沢市本多町3-11-1(株)浦建築研究所内

UDI



UDIいしかわ プロジェクトイメージ

多様な分野における
UDプロジェクトの実践に取り組みます

ユニバーサルデザイン(UD)とは？

年齢・性別・人種・障害や能力の差に関わらず、できる限り多くの人々が利用しやすい道具や設備、都市や生活環境をデザインする考え方と方法です。UDは、1本のスプーンからまちづくりまで。日本、そして世界の、ものづくり・社会づくりの根幹をなすものになっています。

一般社団法人

ユニバーサルデザインいしかわとは？

北陸の地域特性に根ざしたUDの普及を図る事業を行い、UDの考え方や手法を、福祉医療、地場産業、建築、スポーツ、アート、観光など様々な領域での課題解決やデザインの推進に役立てることを通して、多様で豊かな生活情景の醸成及びまちの実現に寄与することを目的に設立した一般社団法人です。

参加無料

事前申込制
申込〆切4/8(土)